

第1回江別市食育推進計画策定委員会 会議録（要点筆記）

日 時：平成30年8月23日（木）午後3時00分～午後4時00分

場 所：市民会館37号室

出席委員：小野寺委員長、伊藤副委員長、八巻委員、中田委員、尾澤委員、佐藤委員、
今林委員、竹居田委員、郷委員（計9名）

欠席委員：鈴木委員、中橋委員（計2名）

事務局：渡部経済部長、川上経済部次長、堀井農業振興課長、徳橋農政係長、
木村主事、田中主事（計6名）

1 開 会

2 挨拶

【渡部経済部長】

近年、ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化の進展など、私たちを取り巻く生活環境の変化のほか、環太平洋連携協定（TPP）や経済連携協定（EPA）が発行されれば、食料自給率や地産地消の取り組みにも大きな影響を及ぼすことが懸念される。

このような中で、家庭や地域における食育活動について、改めて真剣に考え、推進していく必要がある。当市では食育推進計画策定のほか、平成29年4月に「健康都市宣言」を行い、特に野菜の摂取量350gを目指しているが、小学生の肥満傾向、中学生になると食事制限によるやせ傾向などがみられる。子どもの頃から健全な体をつくっていくためにも、適正な食育が重要であり、みなさまの意見を頂戴しながら新しい計画の策定に繋げていきたい。

3 委嘱状交付

（委嘱状交付）

（委員自己紹介）

4 議 事

（1）委員長及び副委員長選出

（委員の互選により、委員長に小野寺委員、副委員長に伊藤委員が選出される）

（委員長及び副委員長挨拶）

（2）第3次江別市食育推進計画（素案）の概要

【小野寺委員長】

議事の（2）「第3次江別市食育推進計画（素案）の概要」について、事務局より説明願う。

【事務局】

（第3次江別市食育推進計画（素案）の概要について説明）

【小野寺委員長】

何か質問はないか。

【中田委員】

6ページの野菜摂取量の推移について、年度によってばらつきが多いようにみえるが、家計費に占める野菜の支出額で見ているのか、それとも、アンケートで野菜摂取量を把握しているのか。

【事務局】

国の調査であり、アンケート調査で個別に野菜摂取量を把握している。

【小野寺委員長】

26ページからの資料編は、策定委員会のための資料なのか、それとも、計画の本編に付けるのか。

【事務局】

資料編については、第2次計画の具体的な事業や実績値がまとまっており、第3次計画の10ページに記載している江別市の食育推進の現状把握につながる資料となっている。そのため、策定委員会の参考資料とするとともに、最終的には計画本編に資料編として編成したいと考えている。

【小野寺委員長】

26ページからの実績は、第2次計画の直近の実績を使用しているのか。

【事務局】

事業実績については、5年間の計画期間の内、30年度は進行中のため、直近の実績となる29年度の内容を掲載している。

(3) 今後のスケジュール

【小野寺委員長】

議事の(3)「今後のスケジュール」について、事務局より説明願う。

【事務局】

本日の会議まで、庁内関係部署への進捗状況調査や庁内連絡会議を経て素案をまとめてきたところである。9月から10月にかけて第2回目・第3回目の策定委員会を開催し、素案について意見をいただき、原案をまとめる。11月に開催予定の経済建設常任委員会で、原案の内容とパブリックコメントの実施についての報告を行う。12月にパブリックコメントを実施する。1月にパブリックコメントの意見をもとに原案を整理し、その後、第4回目の策定委員会を開催して、最終案をまとめる予定である。

5 その他

(なし)

6 閉 会

【小野寺委員長】

これで第1回江別市食育推進計画策定委員会を終了する。

以上